

平成 25 年度 全国私立中学高等学校 私学経営研修会

実施案内

《主催》一般財団法人私学研修福祉会
《後援》広島県・広島市・広島県私立中学高等学校協会・日本私立中学高等学校連合会
《協力》一般財団法人日本私学教育研究所

研究のねらい

変革の時代を拓く私立学校

—社会と教育の潮流を読み、私学の進路を探る—

政権交代で幕をあけた今年、安倍新政権は経済再生と教育再生に力点を置き、自由民主党選挙公約の高校無償化見直しでは、私立高等学校等就学支援金への所得制限導入等そのゆくえが注視される。折しもいじめ・体罰問題は世間の高い関心を集めており、いじめ防止対策基本法案、第二期教育振興基本計画策定、平成の学制大改革、教育委員会制度見直し、学校週 6 日制回帰、グローバル化時代に対応した教育、道徳教育等、国の教育再生実行会議、自民党教育再生実行本部、文部科学省審議会等で論議の進む教育制度改革の流れが教育と学校経営に与える影響は計り知れず、今後の動向から目が離せない。

私学にとっての朗報は、第 7 期中央教育審議会に吉田晋・日本私立中学高等学校連合会会長・日本私学教育研究所理事長が委員として参画したことで、教育現場の意見を集約し、“もの言う私学”を牽引する“行動する私学人”として、児童生徒のための活躍が期待される。高校教育見直しと大学入試改革・高校学習到達度テスト構想、私学助成減額や学校施設耐震化対応、公立高校授業料無償化や公立中高一貫教育校の余波を受ける生徒募集、経営困難校等、私学を取り巻く環境は厳しさを増す一方である。情報開示・経営健全化の観点から抜本改正される新学校法人会計基準にも、迅速な対応が欠かせない。

本年度の研修会では、児童生徒の保護者や世間の注目が国公立を問わず学校に向けられる中で加速する変革の時代に、私立学校が子ども達の未来を拓くべく、社会と教育の潮流を的確に読み取り、わが国と私学の進むべき道を模索するための報告・討議を展開する。プログラムでは、中央と地方からの最新情勢報告に加え、全国各地からの参加者が交流を深め、各学校の現状と課題を語り合い、悩みを共有することで課題解決の糸口を見いだせるよう、前回好評であったグループ討議形式での意見交換と懇談の時間を設けている。さらに世界平和の地・広島県の私立学校・教育関連施設視察を実施する。

時代の変化をいち早く察知し、社会と教育界の流れを掴み、それらを自らの教育理念・学校経営へと反映させるためにも、広島の地で最新情報や提言、私学人の豊富な経験と想いを共有することで、自らを研鑽し、研修会の成果を各学校と法人の教育活動・経営の活性化に役立てられたい。

会 期 平成25年6月6日(木)～7日(金)の2日間

会 場 広島県 広島市 ANA クラウンプラザホテル広島 【JR 広島駅より車で約 10 分】
(広島駅より市内バスで約 15 分、市内電車で約 20 分。平和記念公園より徒歩 3 分)
〒730-0037 広島市中区中町 7-20 TEL.082-241-1111

募集人員 180名

参加対象 理事長、校長、副校長・教頭、事務長またはこれらに準ずる管理職の方

基調講演 演題「広島発全国へ」～経営指標の変遷～

講師 佐々木 茂 喜 お多福グループ株式会社・オタフクソース株式会社代表取締役社長

【照会先】一般財団法人日本私学教育研究所 一般研修係 TEL03(3222)1621

《講師プロフィール》

佐々木 茂喜 (ささき しげき)

昭和34年・広島県広島市生まれ。昭和57年広島修道大学商学部情報科学科卒業。同年オタフクソース株式会社入社。平成8年取締役営業本部大阪支店長。平成14年専務取締役生産本部長。平成15年取締役営業本部長。平成17年代表取締役社長。平成21年持株会社制移行に伴い、お多福グループ株式会社・オタフクソース株式会社代表取締役社長。ほかに広島経済同友会観光振興委員長。広島修道大学特別客員教授等を務める。オタフクソース株式会社はソースの国内シェアトップクラス企業で、平成23年発刊『世界でもっとも入りたい5つの会社』(李白社/フォレスト出版)では数万社の中から選ばれて紹介されている。趣味は釣り。

基本日程

※プログラム・内容は今後変更となる場合があります。

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	30		30	20 30 40 50	10 30	10		40	10 30	30	30	30
6/6 (木)	受 付	開 会 式	講 演	基調講演		昼 食	報 告		パネル・ ディスカッション		教育懇談会	
							中高連	私 島 学 県	日 私 教 研	プレイ バック		
6/7 (金)	意見交換会			総 括 全 体 会	昼 食	A. 学校視察 《広陵高等学校、修道中学校・高等学校》						
	【分科会】 グループ討議					B. 教育関連施設等視察 《江田島市 海自第一術科学校、修道中学校・高等学校》						

～ 平成 25 年 ～ 創立 50 周年を迎えるにあたり 一般財団法人日本私学教育研究所はこころ新たに 各種研修会を通して 子ども達の未来を拓く私立学校の振興と 私学教員の育成を支えてまいります

今年の私学経営研修会は広島県・広島市において開催いたします。

研修会の開催を快諾して下さった
広島県の私立学校と関係者に対して心よりお礼申し上げます。

各地の私立中学高等学校の代表者たちが広島の地に集い
全国の私学人の現状と経験・情報を共有することによって
各地の私立学校をバックアップできれば幸いです。

とくに研修会のプログラムでは
広島県私立中学高等学校協会の全面的なご支援ご協力を得て
広島市内の私立学校および教育関連施設等の
2つの視察コースを用意しています。

全国の私学人が心を結んで私立学校の未来を拓く力を高めていくため
全国から多くの私立学校の先生方が
広島市にお運び下さるよう心よりお願い申し上げます。

一般財団法人日本私学教育研究所は
今年創立 50 周年を迎えます。
これを機に『私立学校のシンクタンク』として
一層皆様のお役に立つよう努力を重ねてまいります。

一般財団法人日本私学教育研究所
私学経営専門委員長 實吉 幹夫

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

【司会・講師紹介等】鈴木 秀一 一般財団法人日本私学教育研究所事務局長

08:30-09:00	受付
09:00-09:30	開会式 ◆主催者代表挨拶 吉 田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 ◆開催県代表挨拶 黒 瀬 真一郎 広島県私立中学高等学校協会会長 ◆来賓祝辞 湯 崎 英 彦 広島県知事 ◆来賓祝辞 松 井 一 實 広島市長 ◆役員・専門委員紹介 (正副理事長、私学経営・教育制度専門委員等) ◆研修会運営方針説明 實 吉 幹 夫 一般財団法人日本私学教育研究所私学経営専門委員長
09:30-10:30	講演 ◆演 題 「政権交代後の教育政策と私学情勢」 ◆講 師 吉 田 晋 日本私立中学高等学校連合会会長 一般財団法人日本私学教育研究所理事長
10:40-12:10	基調講演 ◆演 題 「広島発全国へ」～経営指標の変遷～ ◆講 師 佐々木 茂 喜 お多福グループ株式会社・オタフクソース株式会社代表取締役社長
12:10-13:10	《昼食》
13:10-14:00	報告Ⅰ ◆テーマ 「教育再生・制度改革のゆくえー私学の明日を展望するー」 ◆報告者 實 吉 幹 夫 日本私立中学高等学校連合会教育制度委員長 一般財団法人日本私学教育研究所副理事長
14:00-14:40	報告Ⅱ ◆テーマ 「広島県の私立私学の現状と課題」 ◆報告者 山 中 幸 平 広島県私立中学高等学校協会副会長
14:40-15:10	報告Ⅲ ◆テーマ 「私学の教育課題と教員の育成ーニーズに即応する日私教研ー」 ◆報告者 中 川 武 夫 一般財団法人日本私学教育研究所所長
15:30-17:30	パネル・ディスカッション ◆テーマ 「変革の時代を拓く私立学校」 ー社会と教育の潮流を読み、私学の進路を探るー ◆パネリスト 山 本 千 曲 株式会社山豊代表取締役 田 原 俊 典 修道中学高等学校校長 鈴 木 康 之 水戸女子高等学校理事長・校長 ◆コーディネーター 野 原 明 教育ジャーナリスト／ 文化学園大学杉並中学高等学校特別顧問・名誉校長
18:00-19:30	教育懇談会 1. 開会 2. 主催者挨拶 長 塚 篤 夫 一般財団法人日本私学教育研究所教育制度専門委員長 3. 来賓挨拶 河 野 行 信 広島県環境県民局学事課課長 4. 乾杯 田 原 俊 典 広島県私立中学高等学校協会校長会会長 ～（懇談）～ 5. 次年度開催県代表挨拶 名 城 政一郎 沖縄県私立中学高等学校協会副会長 6. 閉会 * 円卓・着席形式。各グループ(1卓約12名)は、2日目の意見交換会(グループ討議)の希望 テーマ(参加申込書に記載し参加者が第2希望まで選択)に基づいてメンバー分けします。 * 私学経営・教育制度専門委員、日私教研・中高連役員等が各卓の「世話役」として自己紹介 から懇談・交流並びに翌日グループ討議の進行を促します。

【2日目】6月7日(金)

〈研修会会場〉ANA クラウンプラザホテル 3F オーキッド

【司会・講師紹介等】鈴木 秀 一 一般財団法人日本私学教育研究所事務局長

08:30-10:50	意見交換会 (グループ討議～全体会) テーマ「変革の時代を拓く私立学校」 ー社会と教育の潮流を読み、私学の進路を探るー 【総合進行役】 木内 秀 樹 東京成徳大学中学高等学校理事長・校長 一般財団法人日本私学教育研究所私学経営専門委員 【世話役】 實 吉 幹 夫 私学経営専門委員長 真 城 義 麿 教育制度客員研究員 鈴木 康 之 私学経営副専門委員長 平 方 邦 行 工学院大学中学高等学校校長 長 塚 篤 夫 教育制度専門委員長 松 良 千 廣 常盤木学園高等学校理事長・校長 木内 秀 樹 私学経営専門委員 須 藤 勉 東京学園高等学校副校長 山中 幸 平 私学経営臨時委員 金 野 眞 行 帝京八王子中学高等学校 新 田 光之助 教育制度専門委員 校長特別顧問 野 原 明 教育制度客員研究員 中 川 武 夫 所長
08:30-10:20	1. グループ討議 (1 時間 50 分) 《重点テーマ》 ①私学行政と経営、②学校経営とリーダーシップ、③学校改革と教員の意識改革、 ④生徒募集・進路対策、⑤グローバル化対応教育、⑥学校の危機管理対応 ☆グループ討議 ①～⑥の重点テーマを基にグループ編成(各 12 名程度：前日教育懇談会と同グループ)。各グループ世話役がキーマンとなり、テーマを中心に各学校の課題等について参加者主体で報告討議します。
10:20-10:50	2. 全体会 (30 分) ☆ 分科会報告(20 分) … 分科会の各グループ世話役による報告(例：3分×6テーマ) ☆ 意見交換会(10 分) … 分科会報告・研修会全体を受けて参加者による意見交換
10:50-11:00	総 括 實 吉 幹 夫 一般財団法人日本私学教育研究所私学経営専門委員長
11:00-11:30	《 昼 食 》 視察不参加者 ※視察 A コース・B コース参加者の昼食は視察途中となります
A11:10-17:00	視 察 A 学校視察、B 教育関連施設等視察の 2 コースから選択。 (A はバス利用、B はバス・フェリー利用。ANA ホテル出発・広島駅到着予定) A 学校視察コース(約 5 時間 50 分) 【定員 100 名】 ① 広陵高等学校(共学校) [広島市安佐南区沼田町伴 4754] ② 修道中学校・高等学校(男子校) [広島市中区南千田西町 8-1] 11:10 ホテル出発 ◇オタフクソース(ウッド・エッグ[資料館・工場])見学 [昼食] ◇広陵高等学校視察(学校紹介、授業・施設見学等) ◇修道中学校・高等学校視察(学校紹介、授業・施設見学等) 17:00 頃 広島駅
B11:20-18:00	B 教育関連施設等視察コース(約 6 時間 40 分) 【定員 80 名】 ① 海上自衛隊第一術科学校 [江田島市江田島町国有無番地] ② 修道中学校・高等学校(男子校) [広島市中区南千田西町 8-1] 11:20 ホテル出発～宇品港(広島港)～切串港(江田島) [フェリー内で昼食：弁当] ◇海上自衛隊第一術科学校視察(13:00～14:30・案内人による集団見学) 切串港～宇品港 ◇修道中学校・高等学校視察(学校紹介、施設見学等※) 18:00 頃 広島駅 ※ B コースの修道中学校・高等学校は授業終了後のため、施設見学と学校説明のみとなります。 ※ B コースの術科学校視察は諸事情により中止になる場合があります。また、視察途中で帰ることはできません。

講師・指導員（順不同）

佐々木	茂喜	（お多福グループ株式会社・オタフクソース株式会社代表取締役社長）
山本	千曲	（株式会社山豊代表取締役）
黒瀬	真一郎	（学校法人広島女学院理事長）
田原	俊典	（修道中学高等学校校長）
吉田	晋	（富士見丘中学高等学校理事長・校長）
平方	邦行	（工学院大学附属中学高等学校校長）
松良	千廣	（常盤木学園高等学校理事長・校長）
須藤	勉	（東京学園高等学校副校長）
金野	真行	（帝京八王子中学高等学校校長特別補佐）
中川	武夫	（淑徳SC中等部高等部顧問）

専門委員・客員研究員・指導員（順不同）

實吉	幹夫	（東京女子学園中学高等学校理事長・校長）
鈴木	康之	（水戸女子高等学校理事長・校長）
長塚	篤夫	（順天中学高等学校校長）
木内	秀樹	（東京成徳大学中学高等学校理事長・校長）
山中	幸平	（学校法人山中学園理事長）
梅村	光久	（学校法人梅村学園松阪法人本部長）
新田	光之助	（筑陽学園中学高等学校理事長・高校長）
野原	明	（文化学園大学杉並中学高等学校特別顧問・名誉校長）
真城	義麿	（大谷中学高等学校前校長）
鈴木	秀一	（一般財団法人日本私学教育研究所事務局長）

参加申込み方法

- 1) 申込 下記「参加申し込みの注意」をよくご覧になった上でお申し込み下さい。
2) 申込 先 「一般財団法人日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷UNビル 6 階
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>
- 3) 申込締切日 平成 25 年 5 月 24 日（金）必着
※視察 B コース参加希望者は、平成 25 年 5 月 2 日（木）必着（術科学校名簿事前提出のため）
申し込みは先着順に受け付けますので、募集人員をこえた場合は期日前でも締め切りとなることがあります。

参加費

30,000 円（昼食 2 回、教育懇談会費、学校・教育関連施設視察費を含む。※宿泊費別）

参加確認証

参加申込書受付後、参加確認証をご本人宛にお送りいたしますので、研修会当日受付にご提示下さい。

個人情報の取扱について

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合のみに利用いたします。

参加申し込みの注意

1. 参加申込書に必要事項を記載の上、「一般財団法人日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛に FAX または郵送でお送り下さい（申込後 2 週間以内に確認証が届かない場合は電話で照会下さい）。
2. 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りします。
参加費は、必ずこの払込用紙にて、指定されたコンビニエンスストアでお振り込み下さい。なお、参加費等の領収書は「払込受領証」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。
3. 研修会への参加申込み後の変更・取り消しについては、必ず、FAX にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。不参加の場合、返金の精算は研修会終了後約 1 カ月かかりますので、あらかじめご承知おき下さい。なお、参加費振り込み後の場合は、事務手数料として 1,000 円を差し引いて返金いたしますのでご了承下さい。また、6 月 3 日（月）15 時 00 分以降に不参加の連絡があった場合、いったん納入された参加費は返金できません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。

宿泊のご案内

1. 宿泊の申し込みについて

「ANAクラウンプラザホテル広島」のご予約を承ります。

宿泊の申し込みは、「宿泊申込書」(参加申込書の下欄)に記入の上、「一般財団法人日本私学教育研究所私学経営研修会担当」宛にFAXまたは郵送でお送り下さい。

申込内容確認後、「宿泊予約確認書」(参加確認証の下欄)を送付します。

申し込みは先着順で受付します。部屋数に限りがありますので、申込締切日(5月24日)前に満室となった場合は、その時点で締め切りとなります。

※個人情報に関しては、当研修会宿泊関連の情報以外の利用は一切いたしません。

ホテル名	部屋タイプ	料金	備考	チェックイン	チェックアウト
ANAクラウンプラザホテル広島	シングル 1名1室利用	12,000円	1泊・朝食付、 税・サービス料込み	14時	11時

- ① 朝食が不要の場合でも特別料金の為、返金できませんのでご了承下さい。
② 喫煙希望の方は、その旨ご記入下さい。禁煙室は先着順となります（喫煙室の消臭処理となる場合があります）。
③ ツイン利用希望の方は、備考欄にその旨と同室者のお名前もご記入下さい。

2. 宿泊代金のお支払い方法

宿泊代金は、ホテルにて、直接ご精算ください。

3. 宿泊の変更・取り消しについて

必ずFAXで日本私学教育研究所へご連絡下さい。取り消し時期によっては、キャンセル料金が発生することがあります。

【お申込み・お問い合わせ先】

一般財団法人日本私学教育研究所（私学経営研修会担当）

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683

URL <http://www.shigaku.or.jp/>

研修会場・宿泊(ANA クラウンプラザホテル広島)のご案内

〒730-0037 広島県広島市中区中町 7-20 TEL.082-241-1111 FAX.082-241-9123

ホームページ URL <http://www.anacrowneplaza-hiroshima.jp/>



- ◆交通機関 ◇広島駅より
- ①市内バスで15分(袋町バス停下車 徒歩1分)
 - ②市内電車で20分(袋町駅下車 徒歩1分)
 - ③車で約10分 *有料駐車場(約100台)

◇広島空港より リムジンバスで50分(バスセンター着 徒歩10分)

※詳細はANAクラウンプラザホテル広島ホームページ「アクセス」をご覧ください。

<http://www.anacrowneplaza-hiroshima.jp/access/index.html>

平成 25 年度私学経営研修会《視察先学校等》

広島県には 39 校の私立中学・高等学校があり、男子校 5 校・女子校 10 校・男女共学校 24 校、中高一貫校 24 校・高校単独校 15 校に大別され、それぞれが「建学の精神」を掲げ、特徴的で魅力のある学校運営を行っている。

今回の研修会では、広島県私立中学高等学校の全面的な協力により、①広陵高等学校（男女共学・高校単独校）、②修道中学校・高等学校（男子・中高一貫校）の 2 校を訪問する。また、B コースの教育関連施設等視察では、修道中学校・高等学校と併せて、江田島市にある海上自衛隊第一術科学校を見学する。

① 広陵高等学校 [理事長 田中 清峰 校長 上高原 悟] 広島市安佐南区沼田町伴 4754

1896 年(明治 29 年)創立の男女共学・高校単独校(生徒数 1207 名・教員数 77 名)。校名は漢代に長江北岸に位置した呉の王都(みやこ)「広陵」に由来を持つ。その風光明媚な王都の文化に強い憧憬を持つ江戸時代の漢詩人たちが立地条件の類似性から、水の都広島を「広陵」と呼ぶようになったと言われ、開学の祖・鶴虎太郎氏が広島において文化の香り高い第一等の学校になることを願い校名を名づけた。

生徒一人ひとりが相互の人格を尊重し、節度ある生活態度を大切にして、校訓「質実剛健」を身につけるよう指導する。豊かな自然に恵まれた環境の中で、充実した学習を行い、クラブ活動を奨励して、友愛と自立の精神を涵養し、社会に役立つ人間の育成にあたる。学習指導・進路指導面では、学力の定着と個に応じた進路実現に努めており、進路希望の達成実現に向けて進学・就職とも様々なコースを設定している。生活指導においては、基本的生活習慣の確立、文武両道を目指し特別活動の活性化を進めている。また、国際理解教育を充実・深化させるため、北マリアナ諸島にあるテニアン高校との姉妹校交流、海外修学旅行、留学生派遣・受入れも推進する。家庭・地域との連携を進め、保護者や地域に開かれた学校づくりに取り組んでいる。2005 年開設のメディアセンターは、ICT 時代の先進設備として県内高校一の蔵書数 5 万 8 千冊とパソコン 85 台を有する。クラブ活動では、100 年の歴史を誇る硬式野球部は、夏の甲子園大会で準優勝 3 回、春の選抜大会で優勝・準優勝各 3 回、平成以降甲子園出場は県内最多 14 回の強豪校として名高くプロ野球選手を輩出している。柔道・硬式テニス・少林寺拳法・ボクシング・ゴルフ、体操部等が全国大会に出場している。

☆校訓 …「質実剛健」

☆学校教育目標 …「豊かな緑に恵まれた教育環境のもと、相手を受け入れる素直さや、他者を思いやる優しさと同時に、何事にも立ち向かっていく、たくましい精神と身体を養う中で、文武両道を体現し、ひいては、国際社会に貢献できる生徒を育成する。」

☆目指す教育活動…「生徒一人ひとりの人格を認め、人権を尊重し、人命を守る」

② 修道中学校・高等学校 [理事長 林 正夫 校長 田原 俊典] 広島市中区南千田西町 8-1

1725 年(享保 10 年)創始・287 年の歴史を刻む全国屈指の伝統校(生徒数：中学校 848 名、高校 857 名、教員数 81 名)。藩校として開学し、校名は中庸の言葉「道を修むる これを教えという」に由来する。建学の精神「道を修めた有為な人材の育成」に則り、年度毎に具体的な教育目標を設定し、生徒たちの夢実現をサポートしており、近年は男子進学校として実績が飛躍的に伸びている。大学進学実績のみに偏重することなく、「知徳併進」を教学の目標に、高い学力の構築と豊かな人間性の育成を目指す。中学・高校の 6 か年を一貫した理念の下で教育し、成長・変化の大きい中学・高校の 6 か年を、初級(1・2 年)、中級(3・4 年)、上級(5・6 年)の三段階に分け、各段階に応じた教育目標達成に向けて指導を行う。生徒の自主・自立の精神を重んじ、基本的生活習慣・学習習慣の確立を目指しており、学校行事、生徒会活動、「班活動」と呼ばれる部活動等において、生徒は自主的に取り組む。運動班では 2012 年インターハイ銀メダルのワンダーフォーゲルや水泳・陸上・テニス・弓道・少林寺拳法、文化班では書道・スクールバンド・将棋・囲碁等が県大会上位・全国大会出場レベルの活躍をしており、“修道魂”を発揮している。生徒同士、生徒と教員の絆が強く、在籍時から生涯を通じた関係が継続している。優秀な同窓生が数多く各界で活躍し、強い愛校心により強大なネットワークを構築している。教員は学校全体の目標達成のために向上心をもって現場に臨んでおり、教員評価制度も実施している。

☆建学の精神…「道を修めた有為な人材の育成」(各々の個性を見出し伸ばすことによって、社会に役立つ人材(世のため人のために行動できる個性豊かな人)を育成することを第一義とする)

☆教育理念 …「知徳併進」(「知」を深め、「徳」を高め、「心」豊かな人格を育成する)
「尊親敬師」(親と師はこころの泉、敬愛の心をこめて)
「至誠勤勉」(日々、まごころをつくし、ひたすら励み)
「質実剛健」(かざり気なく、まことありて、強く正しく)

☆教育の特色… 六か年一貫教育、2 学期制、完全学校週 5 日制

☆ 海上自衛隊第一術科学校 (旧海軍兵学校跡地) 江田島市江田島町国有無番地

江田島は、旧海軍及び海上自衛隊の船乗り育成に対する歴史と伝統、そして美しい風景を有している。旧海軍兵学校は、明治 21 年に東京・築地から移転して以来、海軍将校養成の基地として、イギリスのダートマス、アメリカのアナポリスと並んで世界三大兵学校と称された。海上自衛隊の教育機関として設立された 4 つの術科学校の内、第一術科学校では、幹部及び海曹士自衛官に対し、主として艦艇術科(砲術、水雷、掃海、航海、通信等)に関連する教育が行われた。第一術科学校には年間約 7 万人が来訪し、江田島を代表する見学施設となっている。今回は約 1 時間 30 分の団体見学(ガイド付き)コースで、大講堂、幹部候補生学校宿舎(海軍兵学校生徒館)、教育参考館を回る。

【申込・見学に際してのお願い】①参加者希望者は参加申込書に年齢(*術科学校への事前提出名簿に使用)を記入の上、5 月 2 日(木)迄に申し込むこと。②見学途中での単独行動は原則不可。校内見学は徒歩での見学(約 1 km)になるため、歩きやすい服装で参加のこと。また、雨天時は各自雨具を準備のこと。③大講堂内で儀式等が行われる場合は、講堂内は見学不可。④諸般の事情により、見学が中止となる場合がある。

FAX 03-3222-1683

平成 25 年度 全国私立中学高等学校
私学経営研修会 参加申込書

平成 25 年 月 日

① 参加者氏名	(ふりがな) _____			男 女				
② 学 校 名	学校 区分	1. 中学校 A. 男子校	2. 高等学校 B. 女子校		3. 中高併設校 C. 共学校 (含む男女別学校)	③ 職 名		
④ 学 校 住 所	〒 _____ TEL () FAX ()							
⑤ 参加確認証送付先 ※上記の参加者ご本人、または 学校住所以外への送付を希望 する場合にご記入ください。	〒 _____ (受取人氏名 _____)							
⑥ 参加者連絡先※	※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号・自宅電話番号等をご記入下さい。							
⑦ メールアドレス	※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス（携帯電話のメ ールは不可）をご記入下さい。（過去に当研究所の研修会に参加し、申込書等にご記入いただいた方は、 すでに登録されておりますので、記入の必要はありません。アドレス変更の場合はご記入下さい。）							
⑧ 意見交換会【6/7(金)午前】の「重点テーマ」について ※下記「重点テーマ」から第1希望、第2希望のテーマを選んで、枠内の数字に○を付けてください。								
第1希望	1 4	2 5	3 6	第2希望	1 4	2 5	3 6	※ 他の希望テーマがあれば参考にご記入ください
☆重点テーマ（グループ討議の主テーマ） 1. 私学行政と経営 2. 学校経営とリーダーシップ 3. 学校改革と教員の意識改革 4. 生徒募集・進路対策 5. グローバル化対応教育 6. 学校の危機管理対応								
※意見交換会（グループ討議）のグループ分けの参考としますので、必ず第2希望までお選び下さい。調整の結果、必ずしも希望通りと ならないこともあります。希望テーマの記入がない場合、その他の希望テーマに記入の場合、グループ分けは当方で適宜調整します。								
⑨ 視察【6/7(金)午後】の「視察コース」について ※下記「視察A・Bコース」から第1希望、第2希望を選び、枠内のAまたはBに○を付けて下さい(Bは年齢記入)。								
A 学校視察コース【定員100名】(広陵高等学校～修道中学校・高等学校)					※不参加 (○付↓)			
B 教育関連施設等視察コース【定員80名】(海上自衛隊第一術科学校～修道中学校・高等学校)								
第1希望	A B ※ →		※ Bコース希望者の年齢 _____ 歳		※ Bコース希望者は、左欄に 必ず年齢(術科学校への提出 名簿に記載)を記入の上、5月 2日(木)必着で申し込むこと。			
第2希望	A B ※ →		※ Bコース希望者の年齢 _____ 歳					
※視察コースは必ず第2希望までお選び下さい。原則先着順としますが、定員調整の結果、希望通りとならないこともあります。 不参加の場合は「不参加」欄に○をご記入下さい。希望のご記入がない場合は不参加とさせていただきます。(参加費用は同額です)								
⑩ 通信欄								
【宿泊申込書】《ANAクラウンプラザホテル広島》 ☆ホテル宿泊希望の場合は、下欄の希望日に○を付けて下さい。								
宿 泊 日	6 月 5 日 (水) 《 前 泊 》	6 月 6 日 (木) 《 当 日 泊 》	6 月 7 日 (金) 《 後 泊 》	喫煙室 (番号を○で囲む)				
				1. 喫煙室希望 2. 禁煙室希望 3. どちらでもよい				
※シングルルーム1名1室利用・1泊朝食付・税サービス料込 (1泊12,000円) ※禁煙室は先着順 (喫煙ルームの消臭処理となる場合があります)								
【備考欄】 (ツイン利用希望の方は、その旨と同室者のお名前も記入して下さい。)								
※郵送またはFAXでお申し込み下さい。 ※複数名の参加の場合は、恐れ入りますが、本参加申込書をコピーしてご記入下さい。					受付番号			